

○ テントウノミハムシ *Argopistes biplagiatus* Motschulsky

本種は兵庫県下での記録は今迄無かったように思われる。筆者は1983年9月14日市内烏原で叩網で1 ex.採集した。また蜂谷氏採集のハムシ標本を見せて頂いたところ同氏が東灘区岡本で採集された1 ex.があった(Ⅶ-1968)。

黒色で上翅に赤紋を有する特異な形態で一見してわかる種である。

最近熊沢隆義氏が宇都宮で大発生した本種に就いての報文を発表しておられる(インセクト 34巻 2号, p.88, 1983)。それによると本種はヒイラギを食害して成育するようで卵越冬で6月頃成虫は羽化して出現するようで10月末にはヒイラギの葉裏に卵を見られるとのことであった。

(1985年2月)

イワキオチバゾウムシ(?)神戸市内に産す

(兵庫県甲虫相資料・156)

高橋 寿郎

神戸市内の烏原地域で半分程落葉の中にうづもれていたコナラの樹を引っくり返して見たところ小さなゾウムシが1頭ついていた。早速採集すると同時に更にいないかと詳しく調べて見たがみられなかった。尤も落葉とかそのあたりの土も一緒に持ち帰りベルレーゼ装置でも調べればもっといたのかもしれない。とりあえず1頭しか採集出来なかったのであるが一応検鏡して調べて見たがどうも中根博士の図説されている *Otibazo morimoto* Nakane (日本昆虫大図鑑, pl.184, f.24, p.268, 1963) に該当するように思われる(原記載 *Frag. Coleop. Pars.9*, p.36, 1963)。

この属には森本博士が *O. nagasakiensis* Morimoto (Kontyu, 29巻, 1号, p.25-27, 1961) を記載詳しい図もついているがこちらの種ではないと思われる。標本はどうも♀標本なので今一つはっきりしない。森本博士が指適 (*Nature Study*, 16巻, 1号, p.7, 1970) されたように中根博士の記載が割合簡単できめ手となる点がよくわからないが一応本種として同定しておきたい、もっと材料を集めて見なくてはならないが兵庫県下からは初めての記録になる種だと思われる。

産地: 神戸市烏原 (1♀, 5-Ⅳ-1983) (其の後森本博士に見て頂いたが *O. morimotoi* に近い種であるとの御返事を頂いている。標本は同博士の手許に保管されている)。

ところで落葉下にすむゾウムシについて森本博士の大変有益な報文があり (*ibid.*, p.4-7, 1970)。兵庫県下のこの仲間の調査もやれば可成り色々の知見が得られるだろうと思われるが残念ながらその機会に恵れていない。

たゞ 1979年に神戸市内の須磨白川地域でピットホールトラップによる1年間の調査をした際の甲虫類の採集品が全部筆者の手許に保管されている。それを見ると3種が採集されている (1種は県下初記録として報告した。兵庫生物, 8巻, 3号, p.154, 1982)。

○ *Trachphloeosoma advena* Zimmermen イコマケシツチゾウムシ

ハワイ・タンタルス山から記載された種であるが中根博士により大阪の生駒から沢田高平氏が採集された標本に基づいて記載され同時に同博士によって原色で図説もされた種 *Tradyphloeosoma sawadai* Nakane, 1963 が之に当たると。

大変小さい種で落葉下に装置したトラップの中に入っていた。恐らく割合多くいるのではないだろうか。兵庫県下での記録は今迄無かったが、之は調査をされていないからで平凡な雑木林の中で得られているのだから市内でも広くいるだろうと考えられる。最近森本博士によって原色で図説されている (1984)。

産地：神戸市須磨白川 (1 ex., 14-Ⅸ-1978, 1 ex., 11-Ⅺ-1978, 1 ex., 22-Ⅱ-1979, 1 ex., 28-Ⅱ-1979, 2 exs., 29-Ⅶ-1979)。

採集データで御覧のごとく比較的早い時期と遅い時期に活動しているようである (本種の同定は森本博士にお願いし, 上記の内 2 exs. は同博士の手許に保管されている)。

○ *Trachyrhinus* sp.

産地：神戸市須磨。白川 (1 ex., 22-Ⅱ-1979, K. Morimoto det in his coll.)。

この属の日本産は割合いるようだが県下からは *T. troglodytes* Morimoto シュウホウチビツチゾウムシが氷ノ山から記録されているだけである (畑中, 1973, 1975, 高橋, 1981)。

○ *Asphalmus* sp.

産地：神戸市須磨。白川 (25 exs., 25-Ⅳ-1979, 内 4 exs. 森本博士の手許に保管)。

ホソヒメカタゾウムシ *A. japonicus* によく似た種であるが種名未確定。尚筆者が川辺郡猪名川町槻並で採集した 1 ex. (4-V-1979) も *Asphalmus* 属のゾウムシの様であるがこの種も種名未確定(この標本は森本博士の手許に保管)。

以上のように落葉下にいる甲虫類はアリゾカムシにしてもハネカクシにしてもまだまだわからないものが多い。落葉下のゾウムシにしても何種類いるのか見当もつかないのが実状らしい。調べるのには面白いグループのようである。

末筆になり大変申し訳無いのですが常々何かと御教示頂いております 森本 桂博士に厚く御礼申しあげます。
(1985年2月)

県 関 係 文 献 紹 介 (1984.1985)

- 冨永 修・桂 孝次郎. 日本産ネクイハムシ亜科に関する研究. 2. オオミズクサハムシの地理的変異と近似の1新種について。

大阪市立自然史博物館研究報告 №37:2-40, p1.8, March, 1984.

本論文の中で神崎郡砥ノ峯及び岡山県苫田郡上斉原村産でチュウゴクオオミズクサハムシ *Plateumaris constricticollis chugokuensis Tominaga et Katsura* なる新亜種の記載がされた。この貴重な論文を御恵送頂いた 桂 孝次郎 氏に厚く御礼申しあげる。

- 奥谷 禎一. 兵庫の昆虫 季刊 兵庫のペン №23:16-19, 1984.

表題のごとく兵庫県の昆虫相の概説なのであるが一般に余り知られていない文献と思われる。貴重な本巻を御恵送下さった著者奥谷博士に厚く御礼申しあげる。

- 山口福男. 清水東条湖県立自然公園の昆虫。

朝来郡山県立自然公園の昆虫。

出石糸井県立自然公園の昆虫。

上記3地域の県立公園及び周辺地域の自然環境調査報告(3部, 1985年3月刊)の中において昆虫を担当された本会々員山口福男氏がそれぞれまとめられたものである(掲載ページは夫々上から p.20-22, 33-37, 23-27)。発行は兵庫県新観光課となっている。この入手し難い文献を御恵送頂いた山口福男氏に厚く御礼申しあげる。尚本年は笠形山・千峰, 峰山・雪彦山,